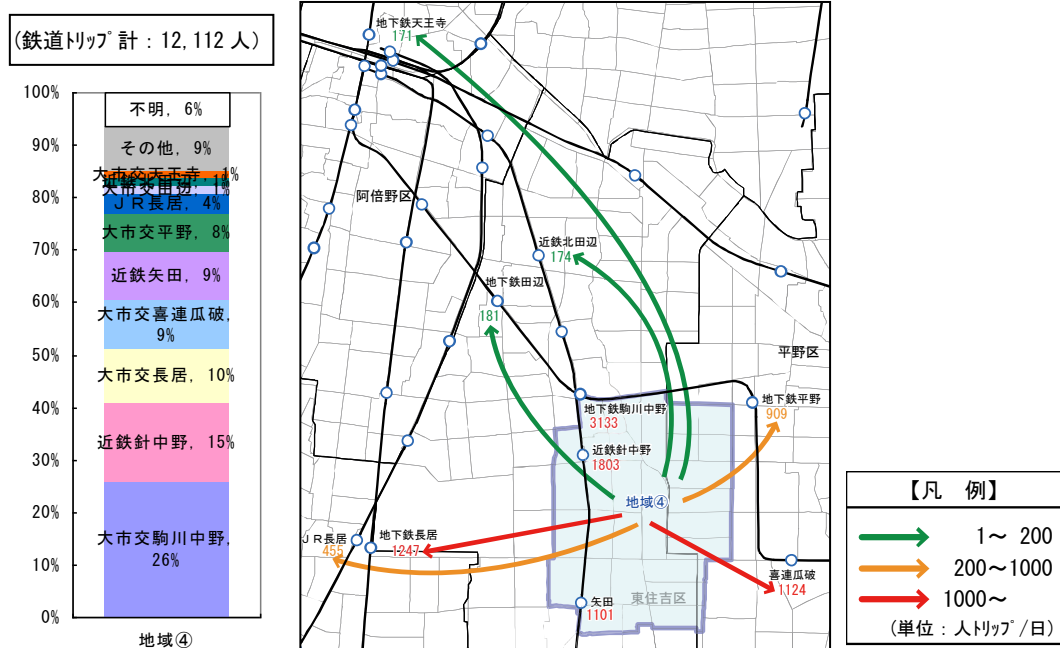


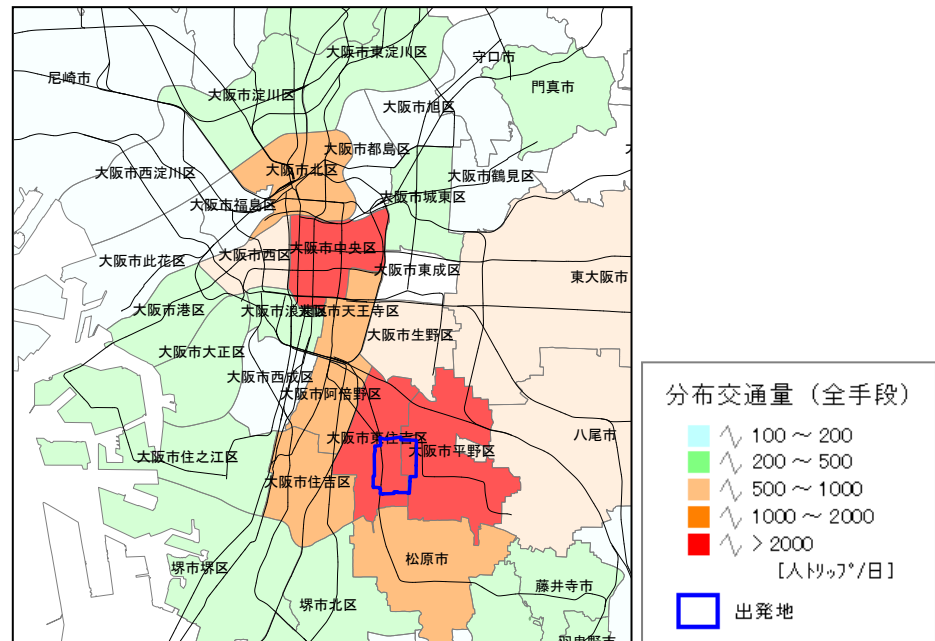
<地域④>

初乗り駅として、地下鉄駒川中野駅が最も多く利用されている。周辺市町村の他、中央区へ向かう比較的長距離のトリップも多くみられる。



資料：平成 22 年近畿圏パーソントリップ調査
(地域④からの鉄道トリップの初乗駅上位 10 駅を图示)

図 1-25 沿線地域からの初乗駅構成比と初乗駅分布<地域④>



資料：平成 22 年近畿圏パーソントリップ調査

図 1-26 沿線の地域別目的地分布・全交通手段トリップ<地域④>

③ 延伸区間のバス系統

(現状)

延伸区間のバス路線は、平成 22 年時点で往復 583 本/日運行しており、延伸区間の輸送人員（延伸区間へ流入もしくは延伸区間で乗車）は、約 8,500 人/日である。

運行 系統	運行本数		
	今里(方面) ⇒湯里六(方面)	湯里六(方面) ⇒今里(方面)	
35	36	35	
10	17	18	※1
18	24	25	※1
85	8	8	※1
85A	14	14	※1
13	28	28	
12	27	27	
23	27	26	
73	26	25	
30	21	20	※1
6	30	28	
5	14	26	
5-1	15		
26	8	8	※1
小計	295	288	合計 583

※1:朝夕時間帯のみ運行・運行回数が少ない系統

注)第8号線延伸部を一部でも併行運行するバス系統を抽出した

	今里(方面) ⇒湯里六(方面)	湯里六(方面) ⇒今里(方面)	輸送人員
流入	2,593	1,455	8,495
乗車	1,630	2,817	

図 1-27 第8号線延伸区間のバス系統

(推移)

延伸区間の輸送人員は、減少傾向にあり、平成4年と比較して、半減している。

表 1-7 第8号線の延伸区間のバス利用者数の推移

		今里(方面) ⇒湯里六(方面)	湯里六(方面) ⇒今里(方面)	輸送人員	運行本数
平成4年	流入	4,863	2,324	16389(100)	948(100)
	乗車	3,262	5,940		
平成10年	流入	4,328	2,120	14271(87)	910(96)
	乗車	2,816	5,007		
平成22年	流入	2,593	1,455	8495(52)	583(61)
	乗車	1,630	2,817		

資料:交通調査結果による

注)第8号線延伸部を一部でも併行運行するバス系統を抽出し、第8号線延伸区間のバス利用者を抽出した。

()は平成4年を100とした場合の値



図 1-28 第8号線延伸区間のバス路線図(平成 22 年時点)

(5) 沿線の特徴と今後の課題

沿線には、密集市街地が存在しており、特に生野区は空家率も高くなっている。

また、今里筋を走行する場合に、需要の喚起・創出などの観点からも、谷町線と交差するにも関わらず、接続が困難であることも課題である。

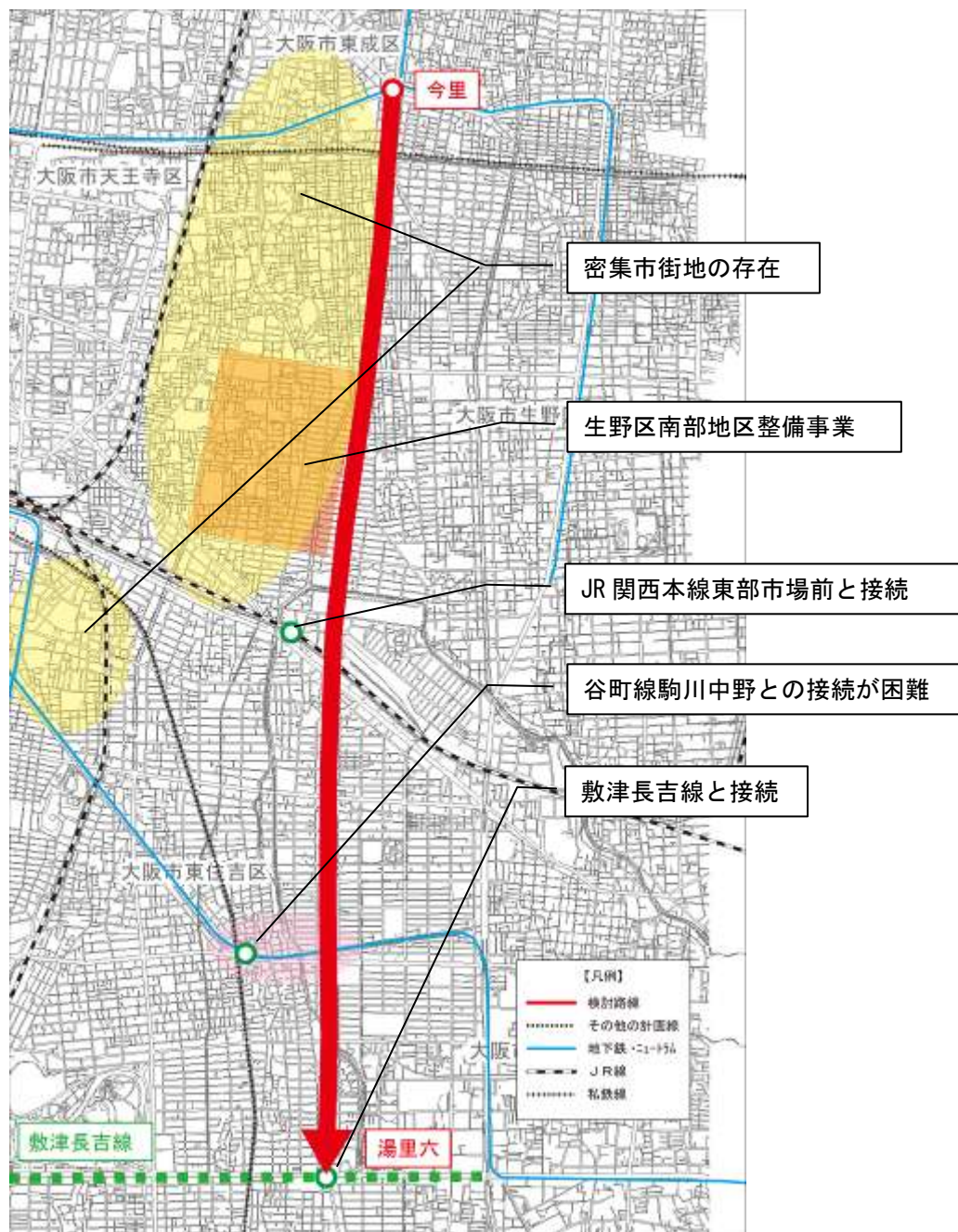


図 1-29 第8号線延伸沿線の特徴と課題